26. 熊本大学大学教育統括管理運営機構(旧教養教育機構)改善計画書

領域	改善計画 (H27. 3. 31現在)	改善状況①(H27. 12. 1現在)	改善状況②(H28. 12. 1現在)
教育		ター制移行期間の間、毎年教養教育において授業改善アンケートの実施を決定した。また、クォーター制下での授業に対応すべくアンケート項目を見直し、2項目	ターム科目用のアンケート票を作成するなど、ターム
	(2年間で改善する計画) 授業開放科目について、ニーズ調査を行い、授業開放 科目のあり方に関して検討を行う。	平成26年度に受講者を対象に実施したアンケート調査によると、より多くの幅広い科目、および具体的なテーマの科目提供が望まれている。現在、平成29年度に向けて教養教育科目のカリキュラム改革を行っており、授業開放科目のあり方に関しても併せて検討を行うこととしている。	(1)授業開放科目については、平成26年度前学期8科目、後学期11科目から、平成28年度は、前学期25科目、後学期22科目とより多くの科目が提供された。 (2)4月発生した熊本地震に伴い、災害支援活動に関するボランティア科目について検討され、社会連携科目として新たに3科目を開設、学生の災害支援活動を単位として認定することにした。
その他	(2年間で改善する計画) 平成26年度男女共同参画室で行った学生アンケートの 結果等をもとに、ジェンダー科目の開講や男女共同参 画冊子の配布等と男女共同参画意識との相関性に関し て、検証を行う。	して男女共同参画に対して熱心にとりくんでいると思 うという記述もあるが、男女共同参画に関して学べる	教養教育の改革、クォータ化に伴い科目大系の見直し等を行った。男女共同参画に関する科目に関しては、本年度は、学際科目(多文化社会論)、文学の諸相と表現b(近現代日本の女性・文学)、社会連携科目44(少子化社会について考える)、同39(人権と性を考える)同6(女性と職業)、開放科目32(ジェンダー入門)等を開講している。
管理運営	(2年間で改善する計画) 管理運営に関して、教職員、学生や学外関係者の意見 や要望に関するアンケート調査を実施する。	おり、管理運営については、現機構から新たなセンターに改編される予定であり、現在、課題として掲げられる(責任体制、教科集団の再構築、継承コマ、語	の高い組織として平成28年6月1日に大学教育統括管理